

◆茅ヶ崎同盟教会たより 2022年1月

味わい 見つめよ。

主がいつくしみ深い方であることを。

幸いなことよ 主に身を避ける人は。

旧約聖書 詩篇34篇8節

●元旦の朝，毎年の恒例は海辺に行って初日の出を見てからのジョギングです。朝日に照らされながら走るのはいつでも気持ちの良いものですが，一年の初めは特別に新鮮な気持ちになります。

●昇ってきた太陽に向かって手を合わせる訳ではありません。朝日を見ながら，この太陽を，美しい海を，この自然の営みのすべてを造り，統べ治めておられる創造主なる神に祈りをささげます。

●多くの人が初詣で「家内安全・商売繁盛」など様々な「幸い」を願います。そこで願う「幸い」を「自分の願い通りに事が進むこと，状況が好ましいこと」と定義するならば，その「幸い」はまことに不安定なものになります。状況の良し悪しによって幸不幸が決まるのです。でも人生には試練や困難がつきものです。

●しかし，聖書が語る「幸い」は状況の良し悪しにかかわらず，いのちの支配者である神と共にあることです。思い通りに事進まなくても，困難に取り囲まれても，「主に身を避ける人」は幸いを経験するのです。

●聖書の語る神は「いつくしみ深い方」です。不安や後悔や悲しみ中でも，怒りや憤りに満ちている中でも，いつくしみ深く私たちと共に歩んでくださるのであります。神のいつくしみを「味わい見つめる」幸いな一年でありますように祝福を祈ります。 牧師 山村諭